

中国信息（畜産）

2008年1月17日号

©2007年の中国牛・羊肉貿易および国際市場情勢

【中国農業部】

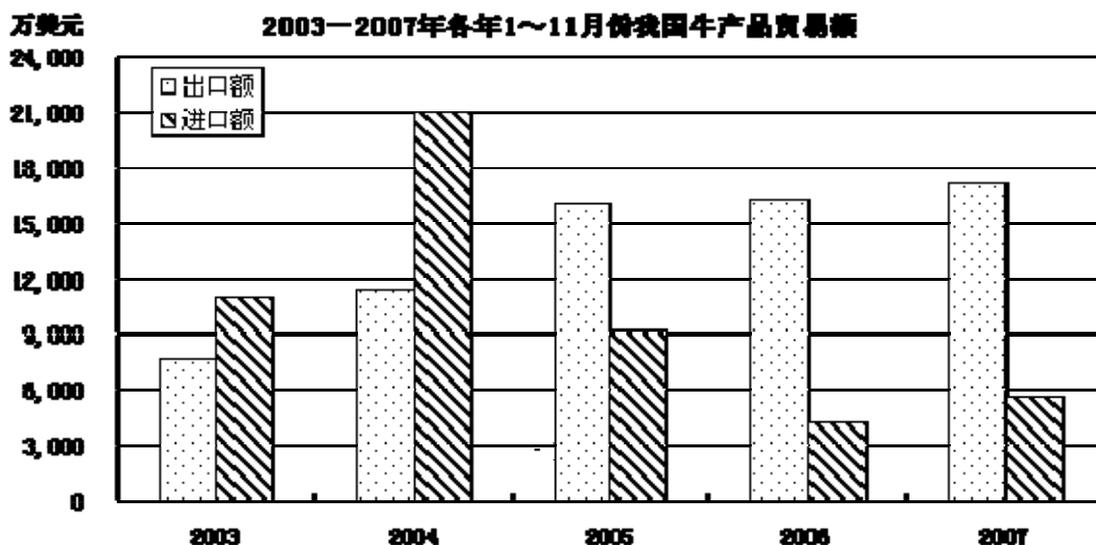
※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、それが当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

中国農業部は先ごろ、2007年における中国の牛肉及び羊肉（注：中国では、一般に綿羊とヤギを区別せずに「羊」と総称する。同様に、「羊肉」は綿羊肉とヤギ肉の総称。以下同じ）貿易及び国際市場情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

1 牛産品輸出は輸入を上回り、貿易黒字が出現

2007年1～11月の中国の牛産品輸出額は、前年同期比5.09%増の1.71億ドルとなった。うち牛肉は牛産品輸出総額の39.87%、加工牛肉は39.55%、生きた牛（種畜＝繁殖用牛を除く）は20.13%であった。

同じく輸入額は32.4%増の5,559.18万ドルとなった。うち牛肉は牛産品輸入総額の22.18%、加工牛肉は7.09%、牛モツは18.6%、繁殖用牛は52.13%であった。これにより、中国の牛産品輸出は輸入を上回り、貿易黒字は1.15億ドルとなった。



(1) 牛肉は輸出入とも増加、輸出は輸入を大幅に超過

2007年1～11月の中国の牛肉輸入量は、前年同期比2.04倍増の3,151.39トン、輸入額は67.79%増の1,232.82万ドルとなった。牛肉の主要輸入相手国はオーストラリアの1,966.57トンで、中国の牛肉輸入総量の62.4%を占めている。

同じく牛肉輸出量は3.08%増の2.52万トン、輸出額は19.36%増の6,821.45万ドルとなった。牛肉の主要輸出相手国は香港特別行政区、ヨルダンおよびクウェートで、その輸出合計量は、中国の牛肉輸出総量の68.35%を占めている。主要輸出省は吉林省、黒龍江省、河南省、遼寧省および北京市で、その輸出合計額は全国の牛肉輸出総額の74.83%を占めている。

(2) 加工牛肉輸出は減少、輸入は増加

2007年1～11月の中国の加工牛肉輸出量は、前年同期比7.24%減の2.74万トン、輸出額は6.22%減の6,766.27万ドルとなった。加工牛肉の主要輸出相手国は日本、韓国および香港特別行政区で、その輸出合計額は中国の加工牛肉輸出総額の87.29%を占めている。主要輸出省は、河北省、山東省、広東、天津市および遼寧省で、その輸出合計額は全国の加工牛肉輸出総額の81.43%を占めている。

同じく加工牛肉輸入量は39.5%増の274.84トン、輸入額は32.73%増の394.4万ドルとなった。主要輸入相手国はニュージーランド、主要輸入省は山東省であった。

(3) 牛モツは輸出入とも増加

2007年1～11月の中国の牛モツ輸入量は、前年同期比75.69%増の7,050.13トン、輸入額は41.22%増の1,033.83万ドルとなった。主要輸入相手国はウルグアイとオーストラリア、主要輸入省は広東省および遼寧省であった。

同じく牛モツ輸出量は1.16倍増の343.96トン、輸出額は1.93倍増の20.43万ドルとなった。主要輸出相手国はタイおよび台湾で、いずれも吉林省または上海市から輸出されたものであった。

(4) 生きた牛の輸出は増加、繁殖用牛輸入も増加

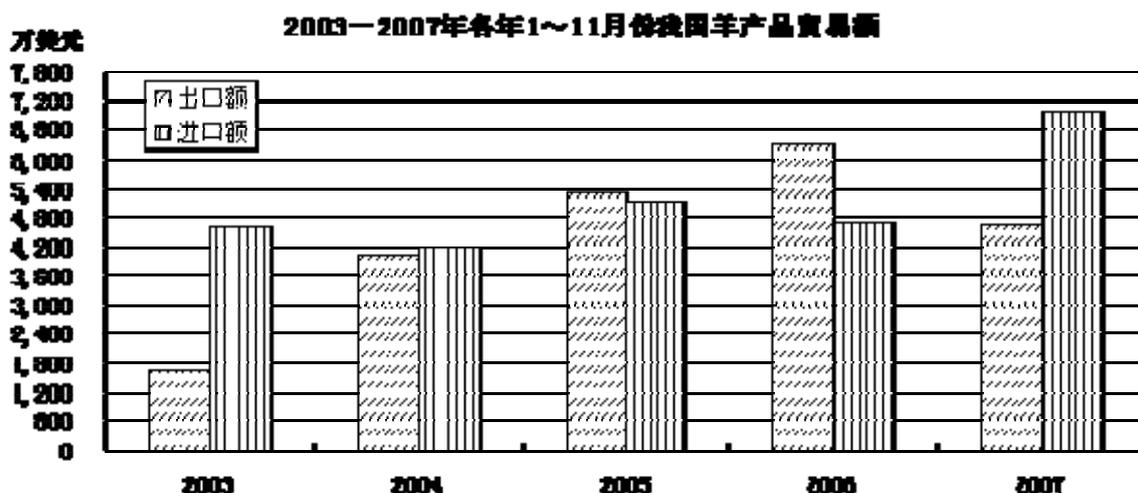
2007年1～11月の中国の生きた牛（繁殖用牛を除く）の輸出額は、前年同期比3.25%増の3,444.11万ドル、輸出量は5.76%減の4.67万頭となった。主要輸出相手国は香港特別行政区で、その輸出額は5.7%増の3,088.38万ドル、中国の生きた牛の輸出総額の89.67%を占めている。主要輸出省は河北省、広東省、内蒙古自治区、北京市および陝西省で、その輸出合計額は全体の75.18%を占めている。

同じく繁殖用牛の輸入額は、19.26%増の2,898.12万ドル、輸入量は2.14%減の1.47

万頭となった。主要輸入相手国はオーストラリアで、その輸入額は2,135.86万ドルで、全体の73.7%を占めている。主要輸入省は山東省で、その輸入額は725.07万ドルであり、全体の25.02%を占めている。

2 羊産品輸出は輸入を下回り、貿易赤字に

2007年1～11月の中国の羊産品輸出額は、前年同期比26.25%減の4,649.59万ドル、輸入額は47.24%増の6,929.48万ドルとなった。輸入が輸出を上回ったため、2,279.89万ドルの貿易赤字が生じた。



(1) 羊肉輸出は減、輸入は増

2007年1～11月の中国の羊肉輸出額は、前年同期比22.52%減の4,606.32万ドル、輸入額は47.68%増の6,915.53万ドルとなった。これにより、2,309.21万ドルの貿易赤字が生じた。

羊肉の主要輸出相手国は香港特別行政区、ヨルダンおよびクウェートで、その輸出合計額は、中国の羊肉輸出総額の60.8%を占めている。主要輸出省は山東省、内蒙古自治区、河北省、北京市および湖南省で、その輸出合計額は全体の92.16%を占めている。

羊肉の主要輸入相手国はニュージーランドおよびオーストラリアで、その輸入額合計は、中国の羊肉輸入総額の99.63%を占めている。

(2) 生きた羊の輸出は減少

同じく生きた羊（繁殖用綿・山羊を除く）の輸出額は、前年同期比87.95%減の43.27万ドル、輸出量は82.09%減の1.46万頭となった。主要輸出相手国は香港特別行政区で、その輸出額は全体の58.15%に当たる25.16万ドルとなった。

2 国際市場分析

(1) 生産および貿易情勢

国連食糧農業機関（FAO）の最新報告によると、2007年の世界の牛肉生産量は、前年比1.34%増の6,709万トンで、うち途上国は55.82%に当たる3,745万トンとなった。牛肉増産は、主として途上国の生産大国に集中しており、その牛肉生産量の増加は、先進国における1%の減産分を十分補う形となった。地域別には、アジアの牛肉生産量が最大で、世界の26.74%に当たる1,794万トンとなった。次いで南米（1,514万トン：世界の22.56%）、北米（1,321万トン：同19.68%）、ヨーロッパ（1,097万トン：同16.35%）の順となっている。

同じく世界の羊肉生産量は、2.14%増の1,384万トンで、うち途上国は世界の75.57%に当たる1,046万トンとなった。先進国の生産量は、同24.71%に当たる342万トンとなった。地域別にはアジアが最大（846万トン：世界の61.12%）で、次いでアフリカ（212万トン：同15.31%）、ヨーロッパおよびオセアニア（134万トン：同9.68%）の順となっている。

貿易については、2007年の世界の牛肉貿易量は700万トン以上で、うち途上国の輸入量は292万トン、輸出量は389万トンで、貿易黒字が発生している。先進国の輸入量は421万トン、輸出量は311万トンで、逆に貿易赤字となっている。地域別には、アジアの輸入量が最大で235万トン、輸入量の最大はオセアニアで184万トンとなった。

世界の羊肉貿易量は90万トン前後で、途上国の輸入量は43.9万トン、輸出量は9.9万トンで、貿易赤字が生じた。先進国の輸入量は48.8万トン、輸出量は74.1万トンで、貿易黒字となった。

(2) 国際価格の推移

ア 米国の牛・羊肉価格は全体に前年同期高

米国農務省経済調査局（USDA/ERS）の報告によると、米国の牛肉価格は前年を小幅ながら上回った。2007年のチョイス級牛肉の平均小売価格は、前年比4.52%高の1ポンド（453.59g）当たり4.16ドルで、うち9月は前年同月に比べ4.22ドル上回ったが、10・11月はやや下落した。

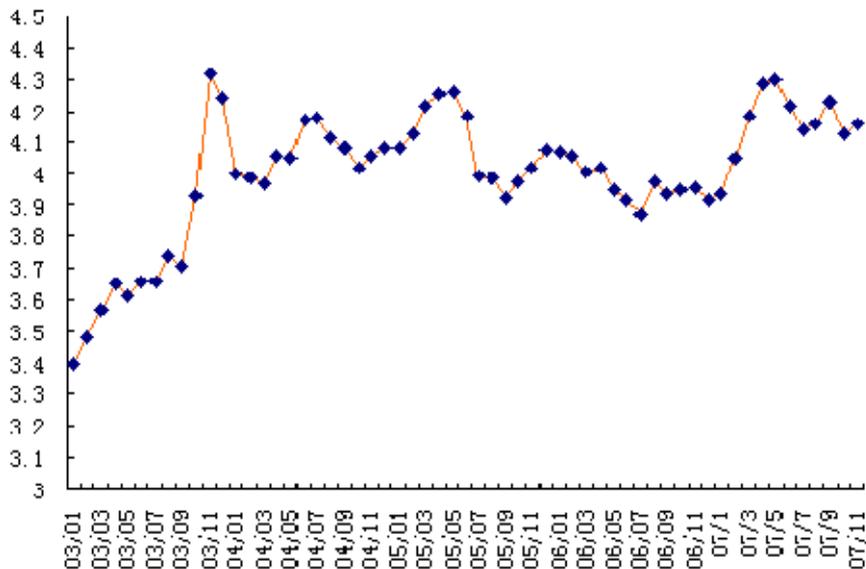
卸売価格について見ると、2007年の骨抜き牛肉の平均卸売価格は前年比2.01%高の1英ロングハンドレッドウェイト（112ポンド＝約50.8kg）当たり133.99ドルとなった。うち第4四半期は124.04ドルで、第3四半期に比べ10.03%安、前年同期並みとなった。

羊肉について見ると、2007年の米穀東海岸のチョイス級羊肉の平均卸売価格は、前年比7.69%高の1英ロングハンドレッドウェイト当たり216.13ドルとなった。うち第4四半期の平均卸売価格は214.90ドルで、第3四半期に比べ3.17%安、前年同期比

2.07%高となった。

2003年1月～2007年11月美国市场精选牛肉零售价格

美元/磅



イ EUの牛・羊肉価格は下落

EUの統計によると、口蹄疫およびブルータングの多発により、EUの牛・羊肉生産量および貿易量とも一定の影響を受け、その価格は前年に比べやや下落している。2007年12月10日のEUの牛肉価格は、前年同月比3.73%安の1トン当たり2,837ユーロとなった。このほか、子牛肉は2.92%安の3,120ユーロとなった。羊肉（生体重40kg前後）の平均価格は1.76%安の4,110ユーロ、また、生体重25kg前後の羊肉は9.18%安の5,330ユーロとなった。

3 国際市場情勢の展望

FAOの最新報告によると、連続する飼料費用の高騰と北米の天候不順および南米の家畜群再編などは、世界の牛肉生産に不利な影響を与えている。しかし、アジアおよび南米の生産は依然として以前の勢いを維持し、世界の牛肉市場を安定させている。国際市場は牛海綿状脳症（BSE）のもたらす影響から回復し、2008年の世界の牛肉および羊肉市場は安定を維持し、生産、貿易とも良好であると予測されている。